

件名 **救命講習会**

令和4年7月16(土)  
主管：防災対策部・健康増進部

岩国地区消防組合中央消防署の救急救命士による救命講習会が愛宕供用会館で開かれました。(10時から12時、受講者24名)  
**“学ぶことで助かる命があります”**

一刻を争う救急患者を救うには、救急車が到達するまでの間、その場に居合わせた人による救命処置、すなわち**胸骨圧迫**と**AED**の使用が何より重要。

**救命処置の手順**

・・・心肺蘇生(胸骨圧迫30回+人工呼吸2回)と、**AED**(電気ショック)の組み合わせを救急車が来るまで継続して行う。

**1) 心肺蘇生 手順**

1. 周囲の安全確認(道路上では車にひかれて二次災害)
2. 意識の確認(もしもーし・大丈夫ですか)
3. 119番通報とAEDの手配 (あなたは119通報お願い! ・あなたはAED持ってきて!)
4. 呼吸の確認
5. **胸骨圧迫**(危害を恐れることなく開始)・・・心臓の血流確保と肺の機能確保が目的
6. 人工呼吸

**2) AEDの使用**

・・・音声メッセージにより落ち着いて。(電源入り・パッドを貼る・心電図解析・必要時は電気ショック)

